

# 2014（平成26）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
なごみの里【生活介護】

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）中期目標（平成26年度～平成28年度）

地域で豊かに生きていくために

- ・日常生活動作（ADL）向上を軸に個々のニーズに沿った支援をしていく。
- ・工賃を得られる生活介護としていく。

### （3）基本方針

#### ①日常生活動作向上のため、個別に支援を提供していく。

- ・個別支援計画に盛り込みそれを基に実施。
- ・支援計画外のことはケース会議や日々の打ち合わせの中で周知しながら対応した
- ・それぞれの利用者のできる事、不得意な事を把握し、個々に合った支援を行った

#### ②年齢や性別に応じた検診により早期治療を行うきっかけとし、豊かな地域生活を少しでも長く楽しめるよう支援する。

- ・耳鼻科、婦人科、歯科等の検診を行い予防に努めた

#### ③日中活動の中で、工賃を得られる取り組みを行う。

- ・刺繍、紙粘土、サラダ菜、柿、カブトムシ等販売できたが、安定して販売するまでには至らなかった。

#### ④利用者・保護者の気持ちに寄り添い、信頼と満足の頂ける支援を行う。

- ・保護者会、送迎時など随時連絡を意識的に行った

#### ⑤体力作りと、自然に親しむプログラムに配慮した創作活動・生産活動を提供する。

- ・ウォーキング、スポーツセンター、プールなどを活用できた。また宿泊旅行、バス旅行、親子バス旅行などでウォーキングを取り入れ果物狩りなど自然に触れる機会を多く取り入れた。

## 2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（生活介護）  
(2) 利用定員 20名（平成26年度利用者数22名）  
(3) 開所年月 平成21年4月  
(4) 施設規模 延床面積 110.16㎡  
建物構造 木造モルタル平屋  
賃貸区分 民間賃貸

## 3. 職員構成

### (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名 ※
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名 ※
支援員（非常勤職員）	7名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	1名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	14名

### (2) 嘱託

医師（4回／年）	1名 ※
看護師（1回／月）	1名
理学療法士（1回／月）	1名
作業療法士（2回／月）	1名
合 計	3名

※ 生活介護・就労継続支援（B型）と兼任

## 4. 利用者状況

### (1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合計
愛の手帳	2名	17名	3名	0名	0名	22名
身障手帳	2名	2名	0名	0名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 年齢構成 (平均年齢 29.9 歳)

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合 計
男	0 名	1 1 名	3 名	5 名	0 名	0 名	1 9 名
女	0 名	1 名	1 名	1 名	0 名	0 名	3 名
合計	0 名	1 2 名	4 名	6 名	0 名	0 名	2 2 名

最低年齢 男… 20 歳 女… 24 歳 最高年齢 男… 44 歳 女… 43 歳

平均年齢 男… 30.5 歳 女… 33.6 歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	荒川区	港区	小金井市			合 計
19 名	1 名	1 名	1 名			22 名

(4) 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
延べ日数	484	506	484	506	506	484	506	484	506	506	440	506	5918
延べ人数	445	459	453	447	460	444	450	408	451	452	401	454	5324
出勤率(%)	91.9	90.7	93.6	88.3	90.9	91.7	88.9	84.3	89.1	89.3	91.1	89.7	90.0

(5) 障害程度区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0 名	5 名	9 名	5 名	3 名	0 名	22 名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:30	送迎、着替え等
9:30～10:00	朝礼、日課の確認
10:00～12:30	ウォーキング 地域回収 創作活動
12:30～13:30	昼食・歯磨き・昼休み・清掃
13:30～15:00	創作活動 ウォーキング
15:00～16:30	お茶・着替え・終礼・送迎

(2) 土曜日

8:30～9:30	送迎、着替え等
9:30～10:00	朝礼、日課の確認
10:00～11:00	室内活動 ウォーキング
11:00～13:00	昼食・歯磨き・終礼・送迎

## 6. 重点目標

### (1) 日常生活動作維持・向上のための支援の充実

- ①日常生活動作（ADL）向上を軸に個々のニーズに沿った支援をしていく。
  - ・OT, PTの意見を取り入れ個別支援計画等に反映させた。
- ②理学療法士、歯科衛生士による指導をもとに、必要な人にストレッチ・マッサージを取り入れる。 マッサージ・・・月1回（第2木曜日）
  - ・継続していく事で身体の硬化を防ぐことができるように感じられた。
  - ・アドバイスを元に、専門外来への通院につなげたり、個別支援に落とし込む事ができた。

### (2) 健康・衛生

- ①一般健康診断の他、歯科検診・婦人科検診・耳鼻科検診等を行い、必要に応じて通院につなげ、アフターフォローをしていく。
  - ・健康診断（なごみの里B型事業所にて）白十字病院健診車他 11/7  
子宮がん検診（白十字病院） 10/28 11/25 12/2  
耳鼻科検診（西武中央病院）6/17・24・ 7/1・8・15
  - ・嘱託医相談…内科（久保クリニック 久保 Dr） 6/19 11/27 12/11 3/19  
理学療法（藤井 PT） 6/9 7/16 8/25 9/20 10/22 11/29 12/2 1/24  
2/19 3/10  
作業療法士（大山 OT） 毎月第2・第4火曜日  
看護師相談（勝好江看護師） 5/22 6/19 7/17 8/21 9/18 10/23 11/27  
12/11 1/15 2/19 3/19
  - ・歯科検診…なごみの里にて（折笠 Dr、橋本 Dr） 11/20
  - ・インフルエンザ予防接種（久保クリニック 久保 Dr）…なごみの里にて 11/27
  - ・体重測定、体脂肪測定…月1回初日に測定し、4カ月分の体重、体脂肪、骨量、基礎代謝等のデータをまとめ、各家庭に配布した。
- ②自分の歯でいつまでも好きなものが食べられるよう、歯科衛生士を活用して保護者と共に個々に合った支援方法を習得し、協力して口腔衛生に努める。
  - ・歯磨き指導（土居衛生士） 2/3 17 24 3回実施
  - ・口腔マッサージは個別支援計画に落とし実施中
- ③身だしなみを意識した支援を行う。
  - ・その都度、また旅行前など、家庭を含めて対応した。また定期的な交換、朝・夕方のチェックは日々の中で対応できた。髭剃りは不定期であり、不十分な感が否めない

### (3) 創作活動

- ①刺繍・ビーズ通し・各種パズルなど、各自に合った教材を工夫して選択できる創作活動の場を提供する。
  - ・多くの教材を取り入れられたが、もっと個々に興味を持ってもらえるようにすることができず、来年度の課題となった。

②水耕栽培を取り入れ、植物を育てる経験を培う。

- ・植物、土に関わる事は体験できたが育てるまでにはいかなかった。グリーンカーテンは上手くいき、夏の日差しを遮る役割を果たす事ができた。

#### (4) 生産活動

資源回収による利益を工賃として利用者全員に同額支給した。

##### 工賃支払実績

	4月	5月	6月	夏季賞与	7月	8月	9月
月額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
総額	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000
	10月	11月	12月	冬季賞与	1月	2月	3月
月額	2,000	2,000	2,000	3,000	2,000	2,000	3,000
総額	44,000	44,000	44,000	66,000	44,000	44,000	66,000

#### (5) 給食

①おいしく安全に食べられるよう、食べやすい治具を用意すると共に、歯科衛生士の指導を取り入れ、個々の状態に合った提供の仕方を工夫する。

- ・きざみや食材の調整、調理法など、個々の状況に合った提供の仕方を実施できた。

②小人数で近隣での外食の機会を取り入れ、社会ルールやマナーを学ぶ。

- ・施設とは違った面が発見できて効果的だった。近隣へのPRにはあまりつながらなかったように思われる。

③栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
						B1	B2	C
計画	668Kcal	24.9g	93.2g	18.6g	128mg	0.38mg	0.34mg	0.38mg
実績	645Kcal	23.9g	94.3g	17.5g	111mg	0.39mg	0.30mg	0.35mg

#### (6) 行事

##### ①年間行事

日付	内容	場所	目的	人数
4/11	ミニ遠足	国立療養所多摩全生園	保護者に利用者の様子や日課を身近に知っていただき、情報交換や交流を図る	30名 家族10名
7/7.18.	プール	東京都多摩障害者スポーツセンター	健康増進、季節に応じた日課の提供	17名
8/19.26	防災館	立川防災館	災害時を体験し、行動学ぶ	22名
8/8.25	プール	東京都多摩障害者スポーツセンター	健康増進、季節に応じた日課の提供	16名
9/12.26	プール	東京都多摩障害者スポーツセンター	健康増進、季節に応じた日課の提供	18名
9/7	共催バザー	市民センター駐車場	他事業所との交流	21名

9/19	市バス旅行	山梨方面	ラ・フランス狩り体験と集団行動	31名
10/15	グループ外出「いもほり」	東所沢観光園芸センター	日常体験できない芋ほりを行い土と親しむ。	33
10/15 ～17	宿泊旅行	新潟方面(ペンションOZ)	外出・宿泊することで自立性・協調性・社会性を身に付ける	31名
11/3	共催運動会	八坂小学校	親の会、保護者、他事業所との交流。	16名
12/17	グループ外出「川越散策」	本川越～お菓子横丁	特急「小江戸」乗車や昔の街並み散策とグループ行動の徹底	9名
1/19	成人を祝う会	中央公民館	卒業後の節目を祝う	19名
1/24	施設祭「もちつき」	なごみの里	なごみの里の活動紹介と、協力者・理解者等周辺の人の交流の機会。	家族他65名
1/26	グループ外出「工場見学」	森永乳業・東京多摩工場	物作りの過程を知り試食を楽しむ。また少人数でのグループ行動と社会資源の活用	8名
2/6	グループ外出「いちご狩り」	狭山ベリーランド	日常できない体験・より細やかな ADL の把握・今後の余暇活動の幅を広げる。	10名
2/21	バス旅行「いちご狩り」	千葉・房総方面	経験値の向上と保護者との交流	41名
3/6	G 外出「サマーランド」	東京サマーランド	行きたい場所を選択し、公共施設でのマネーを実践し積極的に社会参加していく	9名

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

- ①支援者は全員が普通救命技能を取得すると共に上級講習にも参加を促し、非常時に速やかに行動できるようする。
  - ・上級は取得する事ができず来年度の課題となった。
- ②防災計画に基づき月1回の通常訓練・一時避難場所までの避難訓練を行うと共に、防災館を利用し疑似災害を体験する。
  - ・月1回の訓練で、職員が防災を意識する事ができた。また防災館は利用者が非日常の中で社会ルールを守るという意味でも効果的だった。
  - ・消防署立ち合いの「自衛消防訓練効果確認」を実施。2年連続最優秀で表彰された。
- ③防火管理者を中心に定期的な自主点検活動を行う。
  - ・チェック表の作成等が未完成で、課題が残った。

### (2) 事故防止

- ①安全に過ごすための環境作りについて、工夫に努め、点検・管理を行う。
  - ・門扉や周辺ネットの修理により利用者が出て行ってしまふことを回避し、中庭の砂利の敷設等行った。
- ②車輛について安全運転管理者を中心に事故防止に努めると共に、定期的なチェックにより車の不良・消耗を確認し対処する。
  - ・毎金曜の点検で、時折不備を見付けることにより事前に事故を防ぐ事ができた。
  - ・チェーンの着脱の練習を行い、また車両修理記録の書式を作成した。

③各送迎コースの道路状況を定期的に確認し、事故防止に努める。

・運転者の打ち合わせで情報を共有し、事故防止に努めた。

## 8. 地域外の方との関係

(1) 地域回収やウォーキングの際の挨拶など、日常的な関係を大切にする。

(2) 行事を通して地域との交流を図る。

(3) ボランティアを随時受け入れ、施設理解を深める。

## 9. 実習生の受け入れ

(1) 地域の特別支援学校などより実習を受け入れて体験の場を提供する。

(2) 大学などの実習を受け入れ、障がい福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

介護等体験 5日×26名

## 10. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

①支援の充実を図るため、連絡帳などで保護者と情報交換を行う。また保護者の思いを丁寧に聞き取り、信頼される関係を築いていく。

・連絡帳でのやり取りだけでは難しい事もあった。口頭でも伝えていく必要あり。

②保護者の施設に対する理解を深めるため、2ヶ月に1回保護者会を行う。

③なごみ便りで施設の近況や取り組みを報告し、理解を深める。

・毎月実施。行事の際は写真やカラーを織り交ぜ、見て楽しめるよう工夫した。

(2) 親の会

①共催行事などを通して相互に協力していく。

バザー、運動会、成人を祝う会を中心に行った。

## 11. 職員研修

①職員個々、行動障害等の知識や支援技術に関して研修などを通してスキルアップを図る。

・研修を通し、知識を深めると共に自分の支援を振り返る機会となった。また参加後に、仕事の量を視覚的に理解できるようにするなどなごみでできることに取り組んだ

②リスクPT・人権研修等を活かした取り組みを行う。

・各施設との連携や共通のリスク事項に関して共有する事ができたが具体的な取り組みに至らなかった。法人研修(年2回)は各事業所共通内容の研修になった。

研修での結果を発表して問題提起を行い、結論まで話し合う事ができた。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
支援力を高める～合理的配慮とアンガーマネジメントの視点から～	5月23日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	東京オリンピック記念青少年総合センター	
普通救命救急	5月26日 6月7日	東村山消防署	東村山消防署 本町出張所	

生き生きと働き続けるためのコミュニケーションスキル	5月28日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	研究社英語センター	
摂食と嚥下の症例検討	6月12日	多摩小平保健所	清瀬市障害者福祉センター	
権利を守る－利用者の権利、支援者の権利	6月27日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	飯田橋セントラルプラザ	
事務職員向けマナー研修	6月28日	東京都福祉保健局	飯田橋セントラルプラザ	
計画相談の基礎知識	8月27日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	研究社英語センター	
交通安全管理者講習	9月2日	東京都公安委員会	ルネ小平	
福祉職員職務階層別研修「中堅職員のための指導食ステップアップ研修」	10月30日～31日	東京都福祉人材センター研修室	東京都福祉人材センター	
福祉施設経営実務研修「経営中級課程」	11月27日 12月1日	東京都福祉人材センター研修室	東京都社会福祉保険医療研修センター	
利用者支援研究会「知的障害とは」	12月11日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	人事労務会館	
人がやめない職場作り	2月16日	東京都福祉人材センター人材情報室	ベルサール神保町	
強度行動障害支援者養成研修	2月19日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	飯田橋レインボービル	
利用者支援研究会「知的障害とは」	3月3日	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	八王子労政会館	

## 12. 会議

種 目	回 数	内 容
事業別職員会議	1回/月	事業計画実施状況・振り返り、C対応等
常勤会議	1回/月	2事業所合同の常勤会議
評価会議	2回/年	アセスメントの見直し
給食会議	4回/年	委託業者と希望、課題、イベント等
ケース会議	1回/月	C個々について
個別支援計画会議	2回/年	各ケースの支援計画について

## 13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

### (1) 苦情解決

担当窓口及び第三者委員を設置し、対応にあたる。

意思が伝わる関係を作り、丁寧に対応する。

- ・保護者・利用者とは日頃から小さなことでも伝えていくことで良好な関係を作っていくことを心掛け、連絡帳などを利用した。



(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

- ・シュレッターの活用、パソコン内のデータ保護、口頭での流出に気を付けた。

(3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修を利用しながら意識を持って取り組む。また担当窓口を設置し、丁寧に対応する。

- ・個々での対応を行っているが、研修を通し日々できる最善のことに実行することで次第に人権を守ることにつながることを学んだ

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者		397-2700
担当者		397-2700
第三者委員		391-5077

実際の苦情・要望

- ・送迎車が、時間通りに来なかった。(少し遅れる事が連絡できていなかった)
- ・家庭の都合がある時は、通常の間でなく帰宅時間を延長してほしい。
- ・グループ外出先が、第一希望が叶わなかった。

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者		397-2700
担当者(男性)		397-2700
担当者(女性)		397-2700